



Macmail Exchange 設定

「長崎大学 Microsoft アカウント」が必要となります。
長崎大学 Microsoft アカウントは以下の通りです。

【ユーザー名】

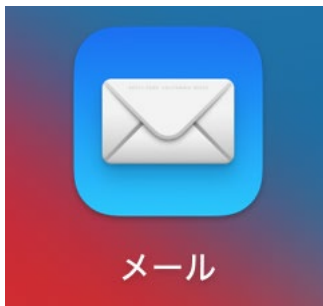
長大 ID@ms.nagasaki-u.ac.jp 例) aa8xxxxxxx@ms.nagasaki-u.ac.jp

【パスワード】

長大 ID 用のパスワード

※Web メールにサインインした後に設定下さい。

1. Macmail を起動します。



2. 【メール】 → 【アカウントを追加...】 をクリックします。





3. 下記の様な画面が出た場合は、【Microsoft Exchange】をクリックし、【続ける】をクリックします。

メールアカウントのプロバイダを選択...

- iCloud
- Microsoft Exchange
- Google™
- yahoo!
- Aol.
- その他のメールアカウント...



キャンセル

続ける

4. 名前を入力し、メールアドレスに【長崎大学 Microsoft アカウント】を入力し、【サインイン】をクリックします。

The screenshot shows the Microsoft Exchange sign-in interface. At the top, it says "Microsoft Exchange". Below that, it asks "最初に、次の情報を入力してください:" (First, please enter the following information:). There are two input fields: "名前:" (Name) with the value "nagasaki taro" and "メールアドレス:" (Email address) with the value "aa8xxxxxxx@ms.nagasaki-u.ac.jp". At the bottom, there are two buttons: "キャンセル" (Cancel) and "サインイン" (Sign In).

長崎大学 Microsoft アカウントを入力します。

<長大 ID>@ms.nagasaki-u.ac.jp

例) aa8xxxxxxx@ms.nagasaki-u.ac.jp

5. 下記の画面が表示されたら、【サインイン】をクリックします。

The screenshot shows a confirmation screen for signing into a Microsoft Exchange account. It says "Microsoft Exchange" at the top. Below that, it asks "MicrosoftでExchangeアカウントにサインインしますか?" (Do you want to sign in to an Exchange account with Microsoft?). A message follows: "Exchangeアカウント情報を検出するために、メールアドレスはMicrosoftに送信されます。" (To detect Exchange account information, the email address is sent to Microsoft.). At the bottom, there are three buttons: "キャンセル" (Cancel), "手動構成" (Manual setup), and "サインイン" (Sign In).



6. パスワードに【長大 ID 用のパスワード】を入力し、【サインイン】をクリックします。

長崎大学 Office 365

組織アカウントを使用してサインインしてください

aa8xxxxxx@ms.nagasaki-u.ac.jp

.....

サインイン

© 2013 Microsoft

キャンセル

7. 下記のような画面が出た場合は、多要素認証の設定を行ってください。
多要素認証の設定は、[こちら](#)をご確認ください。



aa @ms.nagasaki-u.ac.jp

詳細情報が必要

ご使用のアカウントを保護するため、組織ではさらに情報が必要です

[別のアカウントを使用する](#)

[詳細情報の表示](#)

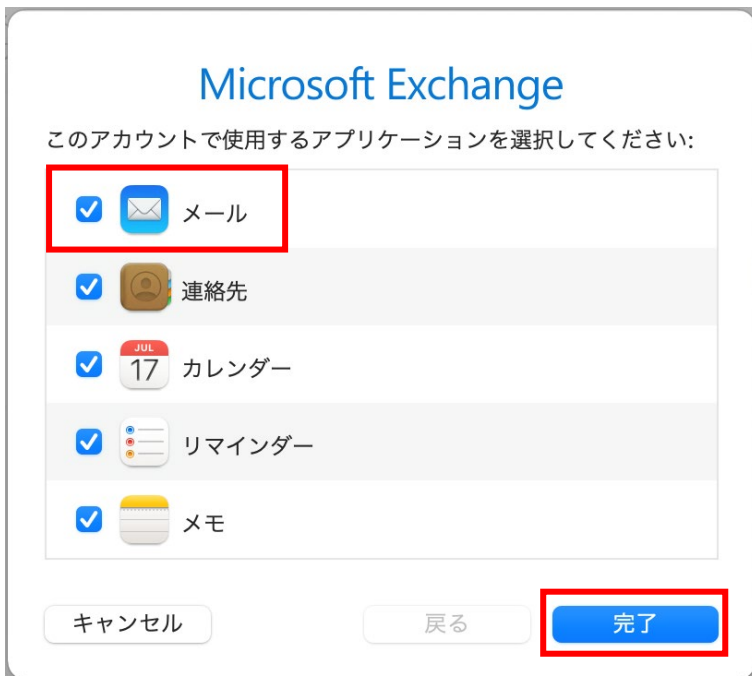
次へ



8. 【承諾】をクリックします。




9. メールにチェックが入っていることを確認してください。その他については、ご利用に合わせて選択し、【完了】をクリックします。






10.下記の画面が表示される場合は、【“メール”でのアクティビティを保護しない】を選択し、【続ける】をクリックします。




メールプライバシー保護

メールプライバシー保護により、IPアドレスが非公開になり、メールメッセージを開いていない場合でも、リモートコンテンツがバックグラウンドでプライバシーを保護した形で読み込まれるようになります。これにより、送信者があなたの“メール”でのアクティビティを追跡することが困難になります。

[詳しい情報...](#)

 “メール”でのアクティビティを保護
IPアドレスを非公開にし、リモートコンテンツをすべてプライバシーを保護した形で読み込みます。

 “メール”でのアクティビティを保護しない
IPアドレスを公開し、すべてのリモートコンテンツを直接デバイスに読み込みます。